

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千九百一號

昭和九年十月一日(月)

海軍大臣官房

○ 辭令

(各通) 海軍主計大佐 渥美 龍夫  
海軍書記 溝口 多事見

同 石木 政治郎  
滿洲國へ出張ヲ命ス(討海軍省)

○ 雜款

○ 驅逐艦初霜行動豫定

地名 着 發  
浦賀 十月二日 九月三十日  
佐世保 十月二日  
其ノ後ハ第二十一驅逐隊ニ同ジ

○ 郵便物發送先  
驅逐艦初霜宛

白今 第二十一驅逐隊ニ同ジ

第十六號掃海艇宛

十月 四 日迄ニ到達見込ノモノハ 吳  
其ノ後ハ 第十一掃海隊ニ同ジ

海軍公報(部内限) 第千九百一號 昭和九年十月一日

五四九

1573

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第千九百二號

昭和九年十月二日(火)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一六七二號ノ一六  
昭和九年度歳出科目中左ノ通追加ス  
昭和九年十月二日

歳出臨時部 海軍大臣

款	項	目	解	疏	會計科目 電信略號
(水陸整備費)(事務費)	×	賞與			タへ

○ 辭 令

海軍少佐 角田 光揚  
昭和九年海軍大演習部隊編成中伊勢副砲長兼分隊長  
被仰付置候處被免同部隊編成中大井乘組被仰付(詰)

海軍省)

軍令部編纂事務囑託 宮坂利喜造  
自今報酬月額七拾圓ヲ給ス  
同 牧野 力  
自今報酬月額六拾圓ヲ給ス(以上詰軍令部)

○ 雜 款

○ 軍艦榛名行動豫定

地名 着 九月三十日 發  
吳 佐世保 十月二日

○ 驅逐艦蓮、夢行動豫定

地名 着 十月十日 發  
鎮海 十月十一日  
佐世保 八月  
鎮海 十一月七日

○ 郵便物發送先

海軍公報(部内限) 第千九百二號

昭和九年十月二日

五五二

1574

驅逐艦連、蓼宛

十月九日迄ニ到達見込ノモノハ

十一月六日迄ニ同

其ノ後ハ

鎮 佐 鎮  
世 保 海

○書類發送先ニ關スル件  
當隊連、蓼分離中司令宛書類ニシテ連、蓼ニ配布ヲ要  
スト認メラレルモノハ寫ヲ連宛一併御送付ノコトニ御  
取計ヲ得度

(第二十八驅逐隊)

( 限 内 部 )

海軍公報 (部内限) 號外

○ 令 達

昭和九年十月二日 (火)

海軍大臣官房

官房第二四三四號ノ五

昭和九年度新造雜役船ノ船種、公稱番號及所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和九年十月二日

海 軍 大 臣

船 種	公稱番號	所 屬	定 數 別		製 造 所	契 約 納 入 場 所	契 約 納 入 預 定 期 日	備 考
			定 數	補 充				
内 火 艇 (十五米)	第八四號	海軍航海學校	臨時附屬		墨田川造船所	横須賀海軍工廠	昭和九年十月三日	東京海軍航空隊(假想)ノ所屬豫定ノモノ
同	第八五號	海軍工機學校			三菱長崎造船所	佐世保海軍工廠	同 年 八 月 三十日	
同	第八六號	佐伯海軍航空隊	定數補充					

海軍公報 (部内限) 號外

1576

( 限 内 部 )

海軍公報 (部内限) 第千九百三號

海軍大臣官房

昭和九年十月三日(水)

○ 通 牒

官房第四二一六號ノ八

昭和九年十月三日

海軍省 副官

關係各廳長殿

報國第六十八號(愛知時計電機號)及同

第六十九號(共同漁業號)各飛行機ノ要

目發表及寫眞撮影ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ報國第六十八號(愛知時計電機號)

飛行機ハ同第三十七號(海軍號) 飛行機ト又報國第六

十九號(共同漁業號) 飛行機ハ同第四十三號(第一南

洋號) 飛行機ト夫々同一ノ義ト御了知相成度

(四月十一日海軍公報(部内限)所載官房第一五八二號參照)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

海軍公報(部内限) 第千九百三號 昭和九年十月三日

五五三

軍艦球磨宛  
十月十三日迄ニ到達見込ノモノハ馬  
其ノ後ハ  
吳 公

1577

( 限 内 部 )

海軍公報 (部内限) 第千九百四號

昭和九年十月四日(木)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第四二八二號ノ二

昭和九年十月四日

海 軍 大 臣

御府献納品銓衡委員會委員長殿

御府献納品銓衡ニ關スル件訓令

貴官ハ委員ヲ督シ今次事變ニ關シ宮中ニ御建設中ノ御府ニ海軍ヨリ献納スベキ物件ノ蒐集銓衡ニ從事スベシ

官房機密第一二號ノ五三

昭和九年十月四日

海 軍 大 臣

各鎮守府司令長官  
舞鶴要港部司令官 殿

兵器簿ノ件通達

各艦船部隊學校兵器簿砲術長主管之部中左記ノ通改正ス

記

區別	類別	品名	數量	數量	削除スベキ範圍
削除	測距儀	乾電池	稱數	數量	二次電池ヲ使用中ノモノニシテ( ) 現存限リト雜記網ニアルモノ
ノ部	ノ部	注液	個	常用補用	
		二型	一	二	

○ 通 牒

教育第五〇號ノ三二

昭和九年十月三日

海 軍 省 教 育 局

關係各廳御中

無線電信遠距離受信檢定成績調査資料ノ件通知

昭和九年九月第三十二回無線電信遠距離受信檢定信文送信要目左記ノ通

記

海軍公報 (部内限) 第千九百四號 昭和九年十月四日

五五五

海軍公報(部内限) 第九百四號 昭和九年十月四日

五五六

信文		大湊海軍無線電信所 送信	
番號	送信日時	速度(分間)	信文修正
一	九月二十七日 午後一時十分	八七	
二	同 一時十四分	八五	
三	同 一時十七分	八六	
四	同 一時二十一分	八五	
五	同 一時二十四分	八五	
六	同 一時二十七分	八五	
七	同 一時三十分	八五	
八	同 一時三十四分	八六	
九	同 一時三十七分	八五	
一〇	同 一時四十分	八五	
一一	同 一時四十三分	八六	
一二	同 一時四十七分	八五	
一三	同 一時五十分	八五	
一四	同 一時五十三分	八五	
一五	同 一時五十五分	八四	
一六	同 一時五十七分	八五	
備考	一、天候晴 一、送信状態良好		

1579

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第千九百五號

昭和九年十月五日(金)  
海軍大臣官房

○令 達

海軍諸例  
則登載

官房第四三三六號

大正十二年達第六十八號現役海軍軍人又ハ軍屬ト同一ノ家ニ在ル者ヲ收容治療ニ關スル件ハ上海海軍特別陸戰隊ニ之ヲ準用スルコトヲ得

昭和九年十月五日

海軍大臣

(諸例則卷三、一三四五頁参照)

○通 牒

官房機密第二〇九四號ノ一〇

昭和九年十月五日

海軍省 副官

各 廳 長 殿

海軍大演習見學ニ關スル件通知

昭和九年海軍大演習見學者配乘區分表中左ノ通變更セ

海軍公報(部内限) 第千九百五號 昭和九年十月五日

五五七

ラレ候

青軍第一艦隊第一戰隊日向ノ部中

第五師團 陸軍砲兵中佐 佐野 忠義

ヲ削リ

軍令部 海軍大佐 下 村 正 助

ヲ加フ

同 第二艦隊第二水雷戰隊ノ部中

第十驅逐隊特務艦 霧朝日 海軍大尉 石 井 永

ヲ、

赤軍第四艦隊ノ部中

第四十九吳海軍 水雷戰隊驅逐隊艦船部 海軍少將 中道 忠夫

ヲ、

同 第二戰隊榛名ノ部中

海軍燃料廠 海軍技師 猪 俣 昇

ヲ、

同 第五戰隊加古ノ部中

特務艦朝日 海軍大佐 井上 幸吉

ヲ削ル

(昭和九年九月十二日海軍公報(部内限) 参照)



海人第九四號

昭和九年十月四日

海軍省人事局長

各所轄長殿

士官ノ進級異動及増俸時期ニ關スル件申進

本年度士官ノ定期進級異動ハ來十一月十五日、増俸ハ

十二月一日ニ實施セラルル豫定ニ有之候

但各種學生入校及之ニ伴フ一部ノ異動ハ十一月一日

ニ實施セラル可ク候

○雜款

○郵便物發送先

鎮海航空隊司令宛

十月 七日迄ニ到達見込ノモノハ

鎮海下士官兵集會所内

佐伯海軍航空隊氣付

其ノ後ハ



(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千九百七號

海軍大臣官房

昭和九年十月八日(月)

○雜款

○懲罰

懲罰言渡書

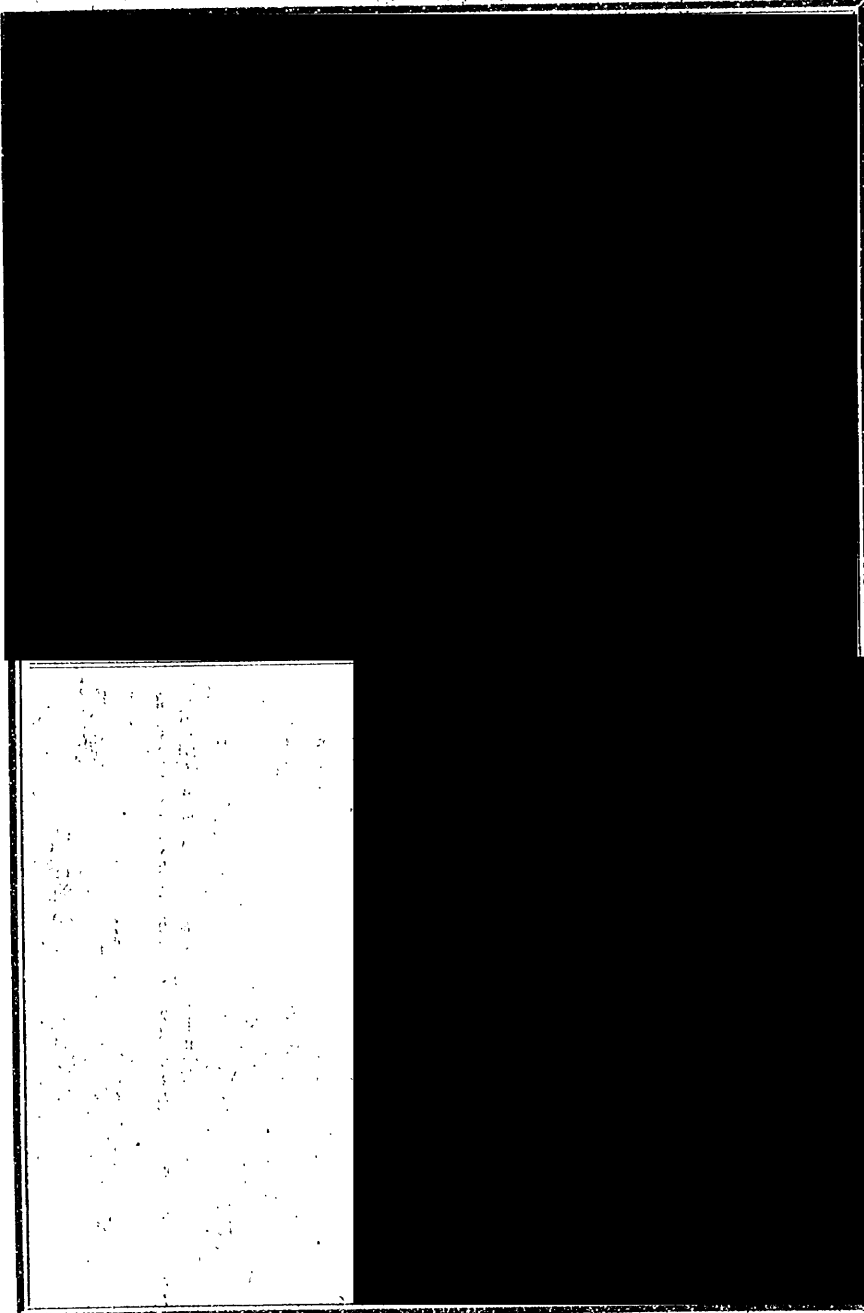
海軍公報(部内限) 第千九百七號 昭和九年十月八日

五六一

1583

海軍公報(部内限) 第九百七號  
昭和九年十月八日

五六二



1584

( 限 内 部 )

海軍公報 (部内限) 第九百八號

海軍大臣官房

昭和九年十月九日 (火)

○ 通 牒

官房第四三九〇號

昭和九年十月九日

海軍次官

關係所屬長官殿

演習休暇ノ件通牒

昭和九年海軍大演習ニ參加シタル者 (第三期演習ニ參加スル者ヲ除ク) ニ對シテハ左記ニ依リ休暇ヲ許可セラレ度

記

- 一、演習ニ參加シタル者一般ニ對シ三日間
- 二、前號ノ外參加艦船、海上部隊 (第一根據地隊ヲ含ム) 及特設航空隊勤務ノ者ニ對シテハ航海休暇ニ準ズル日數

經契第三號ノ六二五

昭和九年十月一日

海軍省經理局長  
海軍艦政本部長  
海軍省軍需局長

關係各廳長殿

麻帆布購買合併契約締結ノ件通牒

首題ノ件左記ノ通契約締結候條可然取計相成度

記

九契雜第四號

契 約 書

海軍省經理局長村上春一 (以下甲ト稱ス) ハ麻帆布 (以下本品ト稱ス) ノ購買ニ關シ帝國製麻株式會社取締役社長四條隆英 (以下乙ト稱ス) ト契約スルコト左ノ如シ  
第壹條 乙ハ昭和九年拾月壹日以降昭和拾年參月參拾壹日ニ至ル期間甲若ハ海軍工廠及工作部並軍需部

海軍公報 (部内限) 第九百八號 昭和九年十月九日

五六三

1585

(以下丙ト稱ス)ノ註文ニヨリ左記價格ヲ以テ本品 ヲ供給スルモノトス			
品名	數量	價格	摘要
上帆布壹號(鯨 壹號)	壹米	壹六六	
同上貳號(同 貳號)	同	壹五九	
同上參號(同 參號)	同	壹五壹	
同上四號(同 四號)	同	壹四參	
同上五號(同 五號)	同	壹參五	
同上六號(同 六號)	同	壹貳七	
同上七號(同 七號)	同	壹壹九	
同上八號(同 八號)	同	壹壹壹	
並帆布壹號(小錨壹號)	同	九五	
同上貳號(同 貳號)	同	九參	
同上參號(同 參號)	同	九〇	
同上四號(同 四號)	同	八八	

同 上五號(同 五號)	同	八六	
同 上六號(同 六號)	同	八四	
黑 染 帆 布	同	壹八貳	

本單價中ニハ納入地迄ノ持込費ヲ含ム

第貳條 本品ハ官ノ指定スル規格ニ合格セルモノナルヲ要ス

第參條 甲若ハ丙ガ本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ寸法、規格、數量、納期、納入場所其他必要ナル事項ヲ記載シタル註文書ヲ乙ニ送附ス

第四條 乙ハ前條ノ註文書ヲ受ケタルトキハ指定事項ニ應シ遲滞ナク納入スルモノトス

第五條 本品納入地ニ到達シタルトキハ受領應ニ於テ必要ト認ムル検査ヲ行ヒ合格ノ上之ガ引渡ヲ受クルモノトス

第六條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内譯明細書ヲ附シタル代金請求書ヲ受領應ニ提出スルモノトス

分割納入ノ場合ニアリテハ前項ニ準シ請求書ヲ提出スルコトヲ得

第七條 官ニ納入シタル本品代價ハ前條ニ依リ代金請

求書受理後拾五日以内ニ當該支出官ニ於テ支拂フモノトス

第八條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非ラザレバ本契約ニ因リテ生ズル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得ザルモノトス

第九條 本契約書ニ明揭ノ外ハ海軍契約規程並ニ同施行手續ニ依ルモノトス

右契約ヲ證スル爲メ本書試通ヲ作り各自記名捺印シテ各其ノ壹通ヲ保有スルモノナリ

昭和九年拾月壹日

海軍省經理局長 村上 春一  
帝國製麻株式會社 取締役 長 四條 隆英

### ○ 辭 令

海軍豫備少尉 竹島 笹市  
右勤務召集ヲ解除ス(附海軍省)

軍令部部員海軍中佐 島本 久五郎  
軍令部課長海軍大佐 下村 正助 歐米出張不在中 第三部  
第五課長代理ヲ命シ置候處差免ス(附海軍省)

### ○ 雜 款

○郵便物發送先變更(九月二十九日 本欄參照)  
特務艦鶴見宛  
自 今

佐世保郵便局留置

海軍公報(部内限) 第千九百八號 昭和九年十月九日

五六五

( 限 内 部 )

海軍公報 (部内限) 第千九百九號

昭和九年十月十日(水)  
海軍大臣官房

○ 通 牒

官房機密第二〇九四號ノ一

昭和九年十月十日

海 軍 省 副 官

各 應 長 殿

海軍大演習見學ニ關スル件通知

昭和九年海軍大演習見學者配乘區分表中左ノ通變更セ  
ラレ候

青軍第二艦隊第六戰隊古鷹ノ部中

海軍艦政本部 海軍造兵少佐 中村小四郎

ヲ 削 ル

(昭和九年九月十二日海軍公報(部内限)参照)

海軍公報(部内限)第千九百九號

昭和九年十月十日

五六七

1588



(限 内 部)

1589

海軍公報(部内限)附録

海軍大臣官房

昭和九年十月十日(水)

昭和八年内閣告示第五號ニ依ル艦船恩給年加算始終期追加左ノ通

(海軍省人事務局)

艦船名	加算始終期(左)(右)		發地名	行先	任務	加算率(二月)		記
	恩給	叙勳						
劉 萱	八	六	復州灣	外國鎮戍	一月半	同上		
	六	六						
	一	一						
芙蓉	七	六	旅順	外國鎮戍	一月半	同上		
	二	二						
	五	五						

海軍公報(部内限)附録

(昭和八、六、六、一ノ項ヲ左ノ如ク改ム)

(昭和八、七、一、八ノ項ヲ左ノ如ク改ム)

朝 顔			菊					
	八	(昭和八、八、二〇)ノ項ヲ左ノ如ク改ム)		八	(昭和八、六、九)ノ項ヲ左ノ如ク改ム)		八	
八	八		六	六	六	六	六	六
五	一		九	五	四	六	三	一
ヨ	旅		旅	ヨ	ヨ	旅	ヨ	ヨ
リ	順		順	リ	順	順	リ	リ
	復			萊				
	州			州				
	灣			灣				
服支那事務地	外國鎮戍		外國鎮戍	服支那事務地	外國鎮戍	外國鎮戍	服支那事務地	外國鎮戍
三月	一月半		一月半	三月	一月半	一月半	三月	一月半
同上	同上		同上	同上	同上	同上	同上	同上

海軍公報(部内限)附録

海軍公報 (部内限) 附録

		八八 一八 旅ヨ 順ヲ
		外國 鎮 戍
		一月半
		同上

三

(限 内 部)

海軍公報(部内限)附録

昭和九年十月十日(水)

海軍大臣官房

昭和九年八月中ニ於ケル艦船恩給年加算始終期左ノ通

(海軍省軍務局)

艦船名	加算始終期(左)(右)		着發地名	行先	任務	加算率(一月)	恩給叙勳	記	事
	年	月							
天龍	八	八	旅順	青島	外國鎮戍	一月半	同上		
球磨	八	八	同	福州	同	同上	同上		
神威	八	八	室蘭						
駒橋	八	八	同	白令海	遠洋航海	三分ノ一			

海軍公報(部内限)附録

安宅	淀			對馬	春日	出雲		八咫重山島	長鯨
				九					
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
四	二九	一八	一四	一三	一八	一六	二	二〇	二九
佐世保	同	同	同	佐世保	横須賀	大連	旅順	見	室蘭
流揚子域江	同	趙氏溝				遼東海灣及渤海 島經由揚子江 流域			
同	同	外國鎮戍				外國鎮戍			
同	同	一月半				一月半			
同上	同上	同上				同上			

太 刀 風	秋 風		羽 風		隱 戸	鶴 見	佐 多		洲 崎
	八 二六 馬 公	八 二七 同	八 二三 同	八 二七 同	八 一〇 三 馬 公	八 二 德 山	八 二〇 四 德 佐 世 保 山	八 二六 佐 世 保 山	八 三 德 山
福 州	油 頭	福 州	油 頭	福 州		同	露 領 オ ハ		堪 察 加
同	同	同	同	外 國 鎮 戍		同	遠 洋 航 海		遠 洋 航 海
同	同	同	同	一 月 半		同	一 三 分 月		一 三 分 月
同 上	同 上	同 上	同 上	同 上					

葦、菱、董	葛	藤	薄	萩	柿、楡、榎	帆
八	八	八	八	八	八	八
一六	一	一	一	一	一	一
大	旅	旅	旅	旅	大	馬
連	順	順	順	順	連	公
流島、遼東、海、黃海、渤海、子、揚、子、江、城	同	青島	大東溝沖	同	青島	厦門
外國鎮戍	同	同	同	同	外國鎮戍	外國鎮戍
一月半	同	同	同	同	一月半	一月半
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

第十五號掃海艇	伊號第六潜水艇	伊號第一潜水艇 第五號 第四號 第三號 第二號	深雪	波風
九	九		九	
八	七	八	七	八
三一	三一	二九	四	一三
		室蘭		大湊
同	在役艦		(聯合艦隊)	
半月	一月			
下巻三四頁ノ六ニ記入シ別ニ記載ノコト	下巻八三〇頁ノ八ニ記入シ別ニ記載ノコト		昭和九年六月二十九日朝鮮濟州島南方ニ於テ洋没、同除カル。十五日驅逐艦籍ヨリ	



(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千九百十號

海軍大臣官房

昭和九年十月十三日(土)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

第二十七驅逐隊(葦、菱、葦)宛

十月十七日迄ニ到達見込ノモノハ

其ノ後ハ

上 海  
佐 世  
保

海軍公報(部内限) 第千九百十號

昭和九年十月十三日

五六九

1597

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千九百一十一號

海軍大臣官房

昭和九年十月十六日(火)

○ 通 牒

官房第四三九一號ノ六

昭和九年十月十六日

海軍省 副官

關係各廳長殿

報國第七十二號(福島號)飛行機ノ要

目發表及寫真撮影ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ報國第五十五號(第一日本鋼管號)

飛行機ト同一ノ義ト御了知相成度

(四月十一日海軍公報(部内限)所載官房第一五八二號参照)

經契第三號ノ六五二

昭和九年十月十三日

海軍省 經理局  
海軍艦政本部  
海軍航空本部

大阪、神戸監督長  
玉首席監督官殿  
名古屋首席監督官

風水害ニ依ル註文品ノ納期延期ニ

關スル件照會

本省契約ノ註文品ニシテ先般ノ風水害ニ依リ納期延期ヲ要スルモノハ延期願ニ別紙様式ノ證明書ヲ附シ提出ノコトニ取計相成度

追テ右證明下附ニ當リテ不可抗力ナリシ點ヲ各個ニ査定相成度

様式

證 明 書

註文番號	品名	契約年月日	契約納期	契約者

右ハ別紙願出ノ事由ニ相違ナク之ガ復舊ニ要スル日數

海軍公報(部内限) 第千九百一十一號

昭和九年十月十六日

五七一

1598

日間ハ無償延期己ムヲ得ザルモノト認ム

昭和 年 月 日

監督官 氏 名 ㊟

○ 辭 令

海軍大佐 原 清

表彰審査委員會委員ヲ命ス  
軍港要港勢力標準調査委員會委員ヲ命ス  
陸海軍軍需工業動員協定委員會委員ヲ命ス  
海軍工作應會計制度調査委員會委員ヲ命ス  
海軍參考館（假稱）建設委員會委員ヲ命ス（十月海軍省）

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限) 第千九百十二號

海軍大臣官房

昭和九年十月十八日(木)

## ○ 辭 令

海軍大佐 星 埜 守 一

滿洲國へ出張ヲ命ス(同日海軍省)

海軍中佐 小 川 貫 璽

派遣勤務員トシテ海軍省教育局勤務ヲ命ス(同日同)

海軍公報(部内限) 第千九百十二號

昭和九年十月十八日

五七三

1600

( 限 内 部 )

海軍公報

(部内限) 第九百十三號

海軍大臣官房

昭和九年十月十九日(金)

○ 令 達

官房第九五號ノ六

雜役船ノ所屬左ノ通變更ス

昭和九年十月十九日

海軍大臣

船種	公稱番號	舊所屬	新所屬	定數別	記事
曳船兼 交通船	第五〇號	霞ヶ浦 海軍航空隊	霞ヶ浦 海軍通信學 校	定數	
内火艇	第七三號	海軍通信學 校	霞ヶ浦 海軍航空隊		

海軍公報(部内限) 第九百十三號

昭和九年十月十九日

五七五

1601

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千九百十四號

昭和九年十月二十日(土)

海軍大臣官房

○雜款

○第十四驅逐隊(夕顔、菊、葵)行動豫定

地名 着 發

大阪灣 十月二十一日

新舞鶴 十月二十三日

○郵便物發送先

第十四驅逐隊(夕顔、菊、葵)宛

十月二十一日迄ニ到達見込ノモノハ

兵庫縣深江郵便局氣付

其ノ後ハ 新舞鶴

海軍公報(部内限) 第千九百十四號 昭和九年十月二十日

五七七

1602

# 海軍公報 (部内限) 第千九百十五號

昭和九年十月二十二日(月)  
海軍大臣官房

## ○令達

官房機密第二三六七號

海軍工機學校教育綱領中左ノ通改正ス

昭和九年十月二十二日

海軍大臣

内令提  
要登載

第八條及第九條中「仕上工業」ヲ「金屬工業」ニ、「鐵  
飯工業」ヲ「金屬工業」ニ改ム  
第十二條第四中「鐵飯工業」ヲ「銅鐵工業」ニ改メ同  
條中第五及第七ヲ削リ第六ヲ第五トシ第八ヲ第六トス  
(内令提要卷一、三四〇頁参照)

## ○通牒

官房第四三九〇號ノ二

昭和九年十月二十一日

海軍次官

## 關係所屬長官殿

演習休暇ノ件通牒

昭和九年海軍大演習ニ參加シタル者(第一期及第二期  
ノミ參加ノ者ヲ除ク)ニ對シテハ左記ニ依リ休暇ヲ許  
可セラレ度

記

- 一、演習ニ參加シタル者一般ニ對シ三日間
- 二、前號ノ外參加艦船、海上部隊(第一根據地隊ヲ含  
ム)及特設航空隊勤務ノ者ニ對シテハ航海休暇ニ  
準ズル日數

## ○辭令

小野 龍馬

第四艦隊ニ於ケル齒科治療囑託ヲ解ク(海軍省)

海軍公報(部内限) 第千九百十五號 昭和九年十月二十二日

五七九

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千九百十六號

昭和九年十月二十四日(水)

海軍大臣官房

○ 辭 令

厦門へ出張ヲ命ス

海軍大佐 須賀彦次郎

同 酒井 武雄

厦門出張ヲ免ス(以上計三員海軍省)

海軍警査 植村 新吾

上海へ出張ヲ命ス(計三員同)

海軍公報(部内限) 第千九百十六號 昭和九年十月二十四日

五八一

1604



(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第千九百十七號

海軍大臣官房

昭和九年十月二十五日(木)

○通牒

經契第三號ノ六七二

昭和九年十月二十日

海軍省 經理局  
海軍艦政本部

關係各廳御中

艦船用電線註文書及同承諾書様式ノ件通牒

九月一日經契第三號ノ五四五通牒艦船用各種電線合併  
契約書第四條及第五條ノ規定ニ依ル註文書及同承諾書  
様式別紙甲及乙ノ通一定致候  
(別紙二葉添)

○雜款

○郵便物發送先

第一戰隊司令部宛

自今

吳軍艦霧島

第二水雷戰隊司令部宛

十一月十四日迄ニ到達見込ノモノハ

其ノ後ハ

横須賀軍艦那珂  
吳軍艦神通

海軍公報(部内限) 第千九百十七號

昭和九年十月二十五日

五八三

1605



別紙乙 (美濃紙半葉)

海軍工廠 部					注文先 監督官
部長	主任	工務主任	部長	購買課長	

△印ハ朱書ヲ示ス

番 號

昭和 年 月 日

、 、 、 、 、 株式會社

、 、 、 海軍工廠 御中

艦船用電線御注文承諾書

但シ納期ハ本表申出通り御承認被下度願上候

東監(阪監)番號							
購買番號				納 期	指 定		
注文年月日					申 出		
用 途				納入場所			
型番號	品 名	寸 法	數 量	單 價		代 價	
	計						
記 事							

(昭和九年十月二十五日公報(部内限)別表)

1607

( 限 内 部 )

海軍公報 (部内限) 第千九百十八號

昭和九年十月二十六日(金)  
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一六七一號ノ一八  
昭和九年度歳出科目中左ノ通追加ス  
昭和九年十月二十六日

歳出臨時部 海軍大臣

款	項	目	解	疏	會計科目 電信略號
艦艇製造費	補助艦艇製造費				ヨネ
艦船損傷復舊費	水雷艇友艇損傷復舊費	休職俸給			ヨネ
		船體復舊			テリ
		軍需品復舊			テヌ

○ 辭 令

從四位勳三等 信夫 淳平  
海軍省事務ヲ囑託ス  
但シ部内限勅任官待遇トス(海軍省)  
軍令部出仕海軍大尉 小澤 義雄  
第四部第九課勤務ヲ命ス(海軍省)

○ 雜 款

○第二十七驅逐隊(華、菱、葦)行動豫定  
地名 着 發  
佐世保 十月二十三日 十月二十三日  
長崎 十一月十三日 十一月十三日  
佐世保 十一月十三日  
○郵便物發送先  
第二十七驅逐隊(華、菱、葦)宛  
十一月十二日迄ニ到達見込ノモノハ  
其ノ後ハ 長崎  
佐世保

海軍公報(部内限) 第千九百十八號

昭和九年十月二十六日

五八五

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限) 第千九百十九號

海軍大臣官房

昭和九年十月二十七日(土)

○ 雜 款

○ 殘務取扱

司令部名		取扱場所	整理主任官氏名
第四艦隊司令部	左記以外	海軍省	海軍中佐 三坂直廉
機關係科	海軍工機學校	海軍中佐	日高爲範
醫關係科	海軍醫學校	海軍中佐	福井信立
第五戰隊司令部	海軍兵學校	海軍少佐	梅谷 薫
第八戰隊司令部	佐世保警備隊司令部	同	松本 毅
第九戰隊司令部	軍艦木曾	海軍中佐	安場 保雄
第十二戰隊司令部	海軍水雷學校	海軍少佐	金岡知二郎
第三水雷戰隊司令部	海軍大學校	同	土井 美二
第四水雷戰隊司令部	海軍通信學校	同	北川 金光
司令部名		取扱場所	内野 信二
第三潜水戰隊司令部	海軍潜水學校	同	
第一根據地隊司令部	佐世保防備隊		
第一防備隊司令部			
第一航空隊司令部	大村海軍航空隊		
第二航空隊司令部	館山海軍航空隊		
左記以外	大村海軍航空隊		
主計關係科			

海軍公報(部内限) 第千九百十九號 昭和九年十月二十七日

五八七

1609



(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限) 第千九百二十號

昭和九年十月三十日(火)

海軍大臣官房

## ○ 雜 款

○郵便物發送先

第六戰隊司令部、軍艦青葉、衣笠宛

十一月十二日迄ニ到達見込ノモノハ  
其ノ後ハ

吳 佐 世 保

海軍公報(部内限) 第千九百二十號

昭和九年十月三十日

五八九

1610

( 限 内 部 )

海軍公報(部内限)號外

昭和九年十月三十日(火)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第六三四號ノ四

臨時海軍購買名簿中左ノ通改正ス

昭和九年十月三十日

海 軍 大 臣

部外秘臨時購買名簿之部

一砲煩之部第七項中左ノ通加フ

株式會社淺野造船所

横濱市鶴見區末廣町二丁目一

横濱市鶴見區末廣町二丁目一

一砲煩之部第八項中左ノ通加フ

株式會社淺野造船所

横濱市鶴見區末廣町二丁目一

横濱市鶴見區末廣町二丁目一

株式會社南千住製作所

○ 東京市荒川區南千住町八丁目八

○ 東京市荒川區南千住町八丁目八

株式會社東洋工作所

○ 大阪市東淀川區野中南通三丁目一三

○ 大阪市東淀川區野中南通三丁目一三

海軍公報(部内限)號外

1611

<p>一砲熷之部第九項中「日本車輛製造株式會社」ノ行ヲ削ル          四魚雷之部ヲ「五魚雷之部」ニ「五火工兵器之部」ヲ「四火工兵器之部」ニ改ム          一一防潜網之部中左ノ通加フ</p>	<p>四 各種錨、鏈、鎖          及同部分品          株式會社村上鐵工所          大阪市浪速區木津川町三丁目一五          大阪市浪速區木津川町三丁目一五</p>	<p>一九無線電信電話之部 (兵器) 第三四項中「日本無線電信電話株式會社及鬼鞍虎次郎」ノ行ヲ削ル          一九無線電信電話之部 (兵器) 第三五項中「日本無線電信電話株式會社、鬼鞍虎次郎及高梨正船」ノ各行ヲ削ル          二六航空兵器之部中左ノ通加フ</p>	<p>二五 飛行機射出機架          構造ニ同部分品          株式會社南千住製作所          (部分品ノミ大物ヲ條ク)          東京市荒川區南千住町八丁目八〇          東京市荒川區南千住町八丁目八〇</p> <p>臨時購買名簿之部</p> <p>二金屬、材料類第九項ノ次ニ左ノ通加フ</p>	<p>一三 銅板          (幅六〇裡未滿)          眞鍮板          (幅六〇裡未滿)          特殊合金株式會社          (眞鍮板ノミ)          東京市麴町區丸ノ内二丁目          東京市王子區神谷町二丁目一二七〇</p>
--	--	---	--	--



<p>二 銅 （舊七六耗未滿） 眞鍮棒 特殊合金株式會社 （眞鍮棒ノミ）</p>	<p>六 東京市麴町區丸ノ内二丁目</p>	<p>東京市王子區神谷町二丁目一二七〇</p>	
<p>二 金屬、材料類第三九項中株式會社エヌチーエヌ製作所（航空發動機用ヲ除ク）ノ腹書ヲ削ル 三 機械、器具類第一八項ノ次ニ左ノ通加フ</p>	<p>一九 蜂巢型放熱器用 黃銅管 株式會社日本冷管精密 機械製作所</p>	<p>七 神戸市林田區荻藻通三丁目</p>	<p>神戸市林田區荻藻通三丁目七</p>
<p>三 機械、器具類第三七項及同第三八項品名中（但シ當分ノ間外國品ヲ併用スルコトヲ得）ヲ削ル 三 機械、器具類第三七項及同第三八項中「三菱電機株式會社、株式會社芝浦製作所及合資會社カンゴト電機製作所」ノ各行ヲ削ル 四 電氣機械、器具、材料類第九項ノ次ニ左ノ通加フ</p>	<p>陸上用配電盤及 一 附屬品 一 發電機、電動機及電動發電機 附屬ヲ除ク （但シ電壓計、電流計、電力計、周波計ハ別項指定供給者製品ニ限ル）</p>	<p>株式會社井上電機製作所 京都市下京區西九條北ノ内町四九</p>	<p>勝亦電機製作所 京都市下京區西九條北ノ内町四九</p>
<p>四 電氣機械、器具、材料類第二四項中「株式會社戸上電機製作所」ノ行ヲ削ル</p>	<p>勝亦查一</p>	<p>東京市芝區三田四國町一五</p>	<p>勝亦電機製作所 東京市芝區三田四國町一五</p>

四電氣機械、器具、材料類第二四項中北澤茂作ノ所在地及工場所在地ヲ「東京市品川區南品川四丁目四八二」ニ改ム 四電氣機械、器具、材料類第二四項中左ノ通加フ 株式會社京北電機製作所 九 東京市豐島區西巢鴨三丁目七七 東京市豐島區西巢鴨三丁目七七			
四電氣機械、器具、材料類第二四項ノ次ニ左ノ通加フ			
二二四 自働接斷器、自働轉換器、遠隔管制接斷器以上類似品及加工品	日本信號株式會社 株式會社京三製作所	二 東京市麴町區丸ノ内二丁目 一三 一 橫濱市鶴見區平安町二丁目	大森工場 東京市大森區大森三丁目一七八五 橫濱市鶴見區平安町二丁目一三一
一三 塗料及原料類中左ノ通加フ			
二五 電氣絕緣塗料 (但シ當分ノ間外國品ヲ併用スルコトヲ得)	旭硝子株式會社	六 東京市麴町區丸ノ内二丁目 旭ラツカ製造所	橫濱市鶴見區平安町二丁目三二〇

(限 内 部)

1615

海軍公報

(部内限) 第千九百二十一號

海軍大臣官房

昭和九年十月三十一日(水)

○ 辭 令

海軍少佐 前島 壽英  
海軍軍事普及部幹事ヲ命ス(計十五員)海軍軍事普及部委員長)

海軍公報(部内限) 第千九百二十一號 昭和九年十月三十一日

五九一